

# 防災情報通信セミナー & 機器展示会を開催

東海総合通信局(局長:北林 大昌)は、令和4年6月30日(木)、東海地方非常通信協議会及び東海情報通信懇談会との共催により、名古屋市内で「防災情報通信セミナー & 機器展示会」を開催しました。

はじめに、北海道電力株式会社 広報部 広報推進グループの三上 博光エネルギー広報担当課長から、2018年9月に発生した北海道胆振東部地震における大規模停電(ブラックアウト)について講演をいただきました。電気の需給バランスやブラックアウトが起きる理由等の基本的な内容から、実際に発生したブラックアウトの状況、そして全国からの復旧応援の様子などについて、当時の現場写真を交えながら詳しく解説していただきました。

続いて、楽天モバイル株式会社 執行役員 BCP企画管理本部の奥 淳己副本部長から、自社の災害対応体制強化の取組について講演をいただきました。サービス開始からのBCP(事業継続計画)の取組、特に災害対策基本法に基づく「指定公共機関」の指定後の関係機関との連携強化、社内訓練の実施状況、さらに将来の低軌道衛星を活用したモバイルネットワーク構築計画などについて、詳しく解説していただきました。

会場には、国の防災関係者や地方公共団体、電気通信事業者など約120名の参加がありました。

また、本セミナーに併せて、機器展示会も開催しました。機器展示会には東海情報通信懇談会の会員であるマスプロ電気株式会社、一般財団法人移動無線センター 東海センター、沖電気工業株式会社及びDXアンテナ株式会社にご協力いただき、最新の防災ソリューションに係る機器の展示を行いました。東海総合通信局からも、地方公共団体等へ貸し出す「臨時災害放送局」の展示を行いました。

東海総合通信局では、今後も最新の防災情報通信に係る話題を提供するなど、防災関係者の防災力の向上に役立つ取組を実施していきます。



【北海道電力 三上氏】



【楽天モバイル 奥氏】



【機器展示の様子】



【セミナー会場の様子】

お問合せ先: 防災対策推進室  
052-715-5008